

ねんど
2024年度

 たぶんかきょうせい かんが こうぎ
多文化共生を考える講座

 たぶんかきょうせい
多文化共生って？

神奈川県には、現在26万人以上の外国籍住民が生活しています。ここ数年その数は増加しています。

戦前から、日本で生活してきた韓国・朝鮮人、華僑をはじめ、1980年代以降のインドシナや中南米から渡ってきた人たち、近年では留学生や技能実習生など多くの外国人が日本で生活をしています。

しかし、外国籍住民を取り巻く環境は必ずしも整っているとはいえません。外国籍住民の労働、教育など、解決しにくいさまざまな課題を抱えています。

多様なルーツや文化を持つ人びとと互いに認め合い、社会の中で共に生きるために必要なことは何かを一緒に考えませんか。

【日程】 全4回 ①6月1日（土）②7月6日（土）終了
③9月28日（土）④10月26日（土）

※詳細は裏面参照



申込フォーム

【会場】 横浜中央YMCAまたはフィールドワーク会場

【参加費】 3,000円（全4回）、1,000円（単回）

【定員】 各回15名 ※定員になり次第締切

【申込】 申込フォームからお申し込みください

主催： 公益財団法人横浜YMCA

共催： NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター



ねんど 2024年度 たぶんかきょうせい かんが こうざないよう よてい
多文化共生を 考 える 講座内容 (予定)

<p>①</p>	<p>6月1日 (土) 13:30~15:30 会場： 横浜 中央YMCA (横浜市中区)</p>	<p>座学：ともに生きる地域を自指そう 講師：裴 安さん (NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター理事長) 外国人が日本で生活するようになった歴史的背景や相談事例から、共に生きる地域づくりについてお話を伺います。</p>
<p>②</p>	<p>7月6日 (土) 13:30~15:30 会場： ABC ジャパン (横浜市鶴見区)</p>	<p>フィールドワーク① NPO 法人 ABC ジャパン 講師：藤浪 海さん (ABC ジャパン理事、関東学院大学専任講師) NPO 法人 ABC ジャパンは、横浜市鶴見区在住の日系ブラジル人が中心となり活動を始め、外国につながる住民のための自立支援、誰もが住みやすい多様性を生かしたまちづくりを目指して活動しています。</p>
<p>③</p>	<p>9月28日 (土) 13:00~16:00 会場： 川崎戸手教会 (川崎市幸区) 集合：JR川崎駅</p>	<p>フィールドワーク② 日本キリスト教団川崎戸手教会 講師：孫 裕久さん (日本キリスト教団川崎戸手教会牧師) 川崎戸手教会は、戦後から在日朝鮮人の方々が生きてきた川崎地域において、共に生きる地域社会づくりのための活動にと取り組んでいます。 当日は、川崎駅から教会までの道のりを歩きながら、川崎という町が辿ってきた歴史を学びます。</p>
<p>④</p>	<p>10月26日 (土) 11:00~14:00 会場： 横浜 中央YMCA (横浜市中区)</p>	<p>映画&振り返り会 多文化共生をテーマとした映画 (移民の記憶 マグレブの遺産 第2部「母」) を鑑賞し、講座全体を振り返ります。 参加者のみなさんで昼食を取りながら、意見交換をしましょう。</p>



【2023年度開催の様子】



座学「外国人を取り巻くすまいの状況
～ともに生きる地域を目指して」



フィールドワーク
川崎市ふれあい館



【アクセス】横浜中央YMCA

〒231-8458 横浜市中区常盤町1-7
関内駅 (JR・ブルーライン) より徒歩3分
日本大通駅 (みなとみらい線) より徒歩5分

地図はこちら →



<https://bit.ly/3IZ8kNt>

■NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター■



かながわ外国人すまいサポートセンターは、外国人のすまい探しを支援するために神奈川県、県内不動産業界、民族団体、NGOなどとの協力のもとに設立されたボランティア団体です。
さまざまな文化を担ったスタッフたちがすまいに関する相談を多言語で受け付けています。

対応言語：英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、
タガログ語、ベトナム語、ネパール語、やさしい日本語



HP